

# 腰椎牽引装置 畳用

## 使用説明書

安全にご利用いただくために、必ずご使用前にお読みください。  
また、いつでも読めるよう大切に保管しておいて下さい。

### 目次

用途 .....	1
使用上の注意 .....	1
商品の名称 .....	2
牽引台折りたたみ方法 .....	2
設置方法 .....	3
使用方法 .....	4

### 用途

腰椎の牽引

### 使用上の注意

本使用説明書では安全に関わる注意事項をその危険の大きさの程度に応じて次のように分類しています。



**警告**

誤った使い方をすると、人が重症を負う可能性がある内容



**注意**

誤った使い方をすると、人が軽傷を負うか、または本品以外の他の財物に損害を与える可能性がある内容



**警告**

1. 牽引開始後腰痛がひどくなったり、しびれたような場合は、すぐに牽引を中止して医師に相談してください。
2. 小さい子供さんがのいる家庭では、子供さんの手に触れることのないよう管理してください。

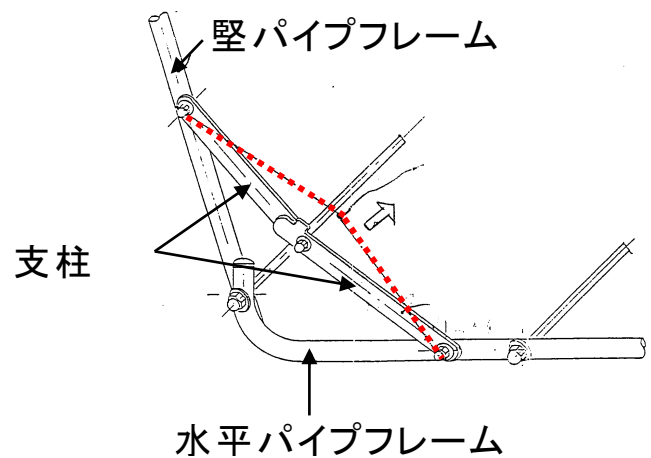
## 商品の名称



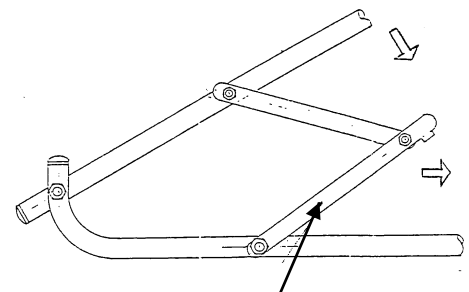
※ 重りは別売りになります。

## 牽引台折りたたみ方法

1. 支柱をいったん持ち上げ、点線の位置まで持ち上げてください。これは支柱が内側に倒れるようにするためです。



2. 堅パイプフレームを倒してください。このとき、支柱が内側に折りたたまれていることを確認してください。(支柱が内側にないまま折りたたむと支柱が押し曲げられ破損します。)



支柱が内側に折りたたまれていることを確認して下さい。

## 設置方法

---

1. 重り袋に重りをいれ、重り袋に紐をつけます。
2. 牽引装置を床に設置してください。
3. 腰椎牽引帯と重りをつなぎ、滑車に通して下さい。このとき、紐がきちんと滑車にかかっていることを確認してください。

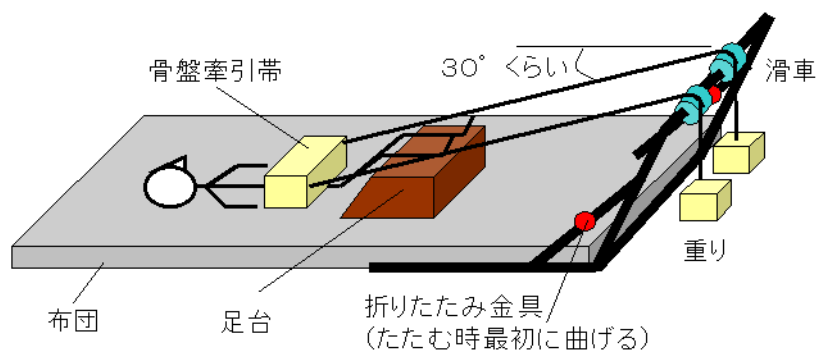
## 使用方法

1. 重りを床に落とした状態で、床に座り、腰椎牽引帯を装着してください。
2. 座った状態で頭方向に体をずらして重りをあげてください。牽引が開始されます。体の不自由な方や高齢者の方は、一人でしないで手伝ってもらってください。
3. 牽引中、重りが床についてしまわないように注意してください。床についたときは、また座って体をずらして重りを上げてください。時々腰を浮かせて引っ張られていることを確認してください。リラックスして、足をクッションなどで持ち上げると効果的です。(腰を浮かせやすくします。)また、体が足方向にずれやすい場合は、手すりなどにつかまるか、寝るところが足に向かって上がり傾斜になるように工夫してください。
4. 牽引の方向は  $30^{\circ}$  くらい上方に引いてください。
5. 重りの重さは、病院で牽引されている方は病院の重りの重さと同じにしてください。病院で牽引をしていない方は、体重の3分の1の重さを超えないようにしてください。最初は  $10\text{kg}$  で1日 2~3回、20~30分位から始めるのが普通です。
6. 長時間続けて牽引するときは  $5\text{kg}$  程度で牽引してください。



**警告**

10kg 以上で牽引する場合は、牽引中寝返りをうったり、寝てしまわないようにしてください。



---

商品のお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 長崎かなえ  
住所：長崎県長崎市坂本 1 丁目 6-10  
TEL: 095-845-6255  
FAX: 095-845-6256